

志賀原子力発電所における ヒューマンエラー低減・防止の取り組みの強化について

平成22年2月22日
北陸電力株式会社

当社は、本日(2月22日)、志賀原子力発電所における「ヒューマンエラー低減・防止の取り組みの強化」について取りまとめ、石川県及び志賀町に報告いたしましたので、お知らせいたします。

志賀原子力発電所では、従来より「意識」と「仕組み」の両面からヒューマンエラーの低減・防止に取り組むとともに、至近に発生した一連のヒューマンエラー事象について追加対策に取り組んできました。

このたび、石川県・志賀町から「原点に立ち返って検討すべき」とのご指示も踏まえ、当社社員のみならず協力会社の声を取り入れ、さらに、石川県原子力環境安全管理協議会や志賀町議会全員協議会等におけるご意見を反映し、以下の強化策(詳細は添付資料参照)を取りまとめました。

体制の強化

個別方策の策定

継続的改善(PDCA)を廻す仕組みの改善

当社といたしましては、今回取りまとめた強化策を徹底するとともに、引き続き、隠さない企業風土と安全文化の定着や品質管理の徹底に取り組み、今後とも安全最優先に志賀原子力発電所の安全・安定運転に努め、地域の皆さまによりご安心いただけるよう全力を尽くしてまいります。

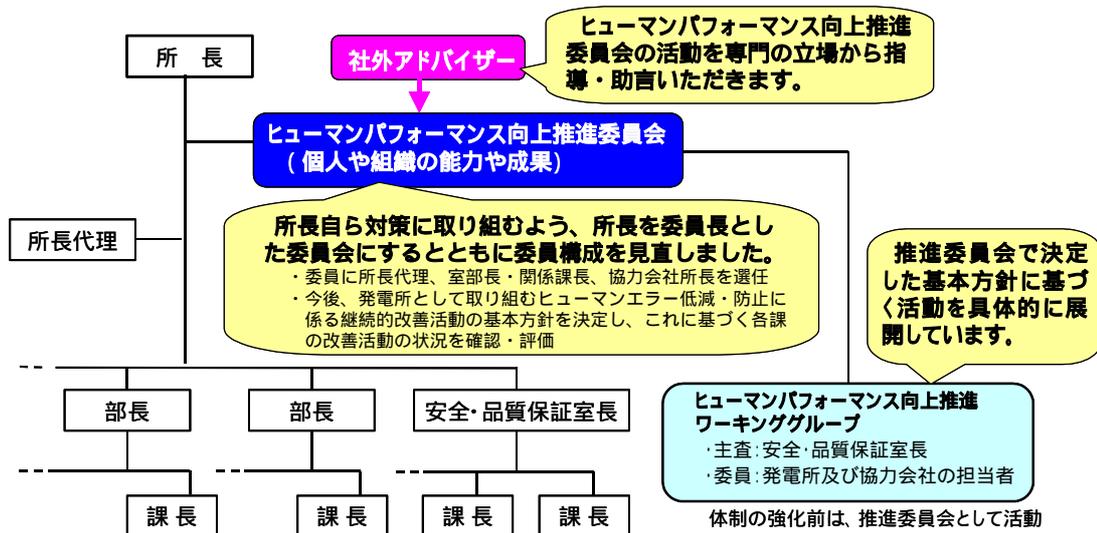
以上

添付資料：志賀原子力発電所におけるヒューマンエラー低減・防止の取り組み強化策

志賀原子力発電所における ヒューマンエラー低減・防止の取り組み強化策

体制の強化

ヒューマンエラーの低減・防止活動を発電所長の強いリーダーシップにより推進するため、体制を強化した。



ヒューマンパフォーマンス向上:

ヒューマンエラーの背後にある人間の行動(振る舞い)と特性を把握し、エラー低減を図るため、個人や組織の能力、成果を向上させること。

ヒューマンエラー低減・防止に係る個別方策の策定

今一度原点に立ち返り、現場の声も踏まえ、現状と問題点の把握を実施した。これにより、より実効的な改善課題(視点)4点を抽出し、これにつながる個別方策を策定した

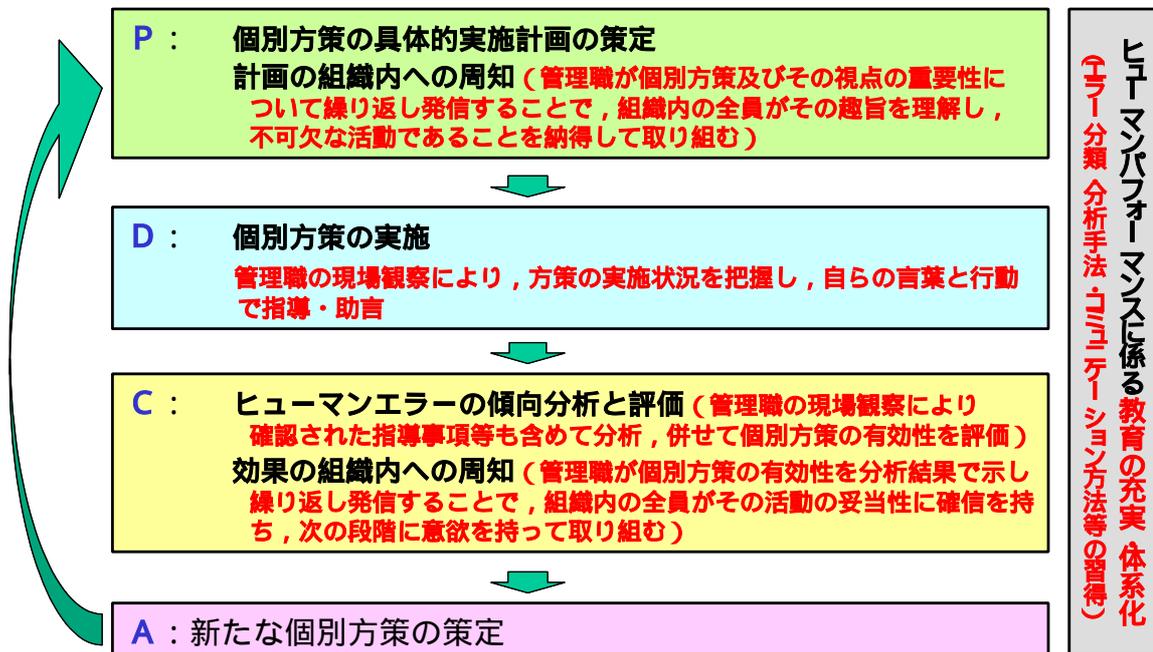
(: 充実する方策 : 新たな方策)

改善課題(視点)	個別方策
1. 作業員に志賀原子力発電所の特徴をよく理解してもらう	<p><入所時教育・資料></p> <p>原子力発電所の社会的影響は一般産業に比べて極めて大きいこと及び志賀原子力発電所特有の留意事項を中心とした教育の充実 志賀原子力発電所で発生したトラブル事例を背景・要因毎に整理し、教育資料に反映 定期検査で重点的に取り組むポイントを教育資料に反映</p>
2. 一体感、やる気、達成感を持ってもらう	<p><現場でのコミュニケーション></p> <p>目的(水漏れ防止、火災防止等)を「見える化」(着用ベストに表示)したパトロールの実施 安全・品質の良好事例に対する現場での称賛と所内ディスプレイで電子掲示 作業開始時や終了時に監理員と作業員が直接顔を突きあわせて確認 現場における名前での声かけ</p> <p><心に響く対応></p> <p>協力会社からの提案・要望(業務改善等)に対するタイムリーな応答 協力会社への安全情報(不適合情報、災害速報等)のタイムリーな提供 現場で確認された安全・品質の良好事例の表彰 作業の計画段階での作業環境(温度・騒音等)の配慮(対策検討)</p>

改善課題(視点)	個別方策
3. 作業にあたってのルール、注意事項をより理解してもらおう	<p><効果的な確認・周知> 節目節目に応じた確認・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所入所時：定期検査の重点実施項目 ・事前検討会：作業員が従事する作業におけるリスク ・TBM(ツールボックスミーティング)：作業員が従事する当日の作業における具体的リスク <p><監理員からの充実した説明> ルール、注意点等について、根拠・考え方も含め、分かり易い言葉で説明 当該作業における重要ポイント、協力会社に期待することを明確に表明</p>
4. 現場で使用する作業要領書をより使い易くする	<p><分かり易い要領書の作成> 絵、写真の取り込みを充実 作業の流れを理解するためのフローシートの活用を充実</p> <p><エラーを起こしにくい要領書の作成> 潜在リスクを作業ステップ毎に注意事項として記載 前回からの手順変更点を強調して記載 現場で使いやすく確実にチェックするため要領書を分冊化 (分解時、 手入れ時、 組み立て時)</p>

継続的改善 (P D C A) を廻す仕組みの改善

ピアレビューの改善提言を踏まえ、管理職の関与を深めて個別方策の組織内への浸透を図る観点から、P D C A を廻す仕組みに新たな項目(赤字部)を追加。



ピアレビュー：

ピア (Peer) とは「社会的、法的に対等な同僚」を意味し、ピアレビューは原子力の専門家で構成したチームが発電所を訪問して以下を実施する技術者交流。

他の発電所にとって有用な「長所」を発見。

安全性と信頼性を一層向上させて世界最高水準に近づくための、自主的な改善活動に必要な提言を実施。